

## ブラジルの金融市場動向 Weekly Report

2017年6月26日

【2017年6月17日～2017年6月23日までの推移】

### 【1】先週の回顧

先週レアルは、対円、対米ドルともに下落しました。2年国債金利は低下しました。

20日（現地）、テメル政権が提案した労働法改革法案が上院の社会問題委員会で否決されたことから政治的不透明感が強まり、レアルは下落しました。また、ブラジルの連邦警察はテメル大統領の汚職疑惑を巡る捜査結果の大半を最高裁判所に報告しました。捜査結果を受けて、検察は近日中にテメル大統領を起訴すると報道されています。

金利については、中央銀行の四半期インフレ・レポートで一段と利下げ期待が高まったこと、中央銀行総裁がインフレ率はコントロール下にあると発言したことや原油価格が下落したことなどから、短期の年限は低下しました。一方、長期の金利は政治的不透明感から上昇しています。

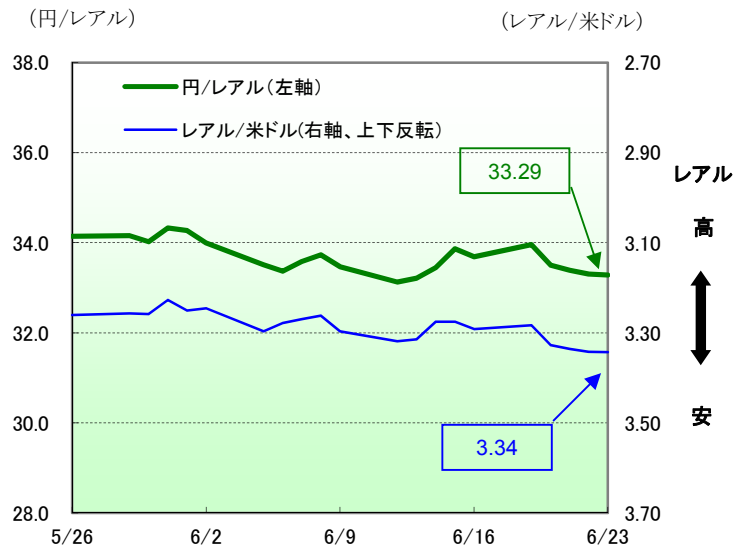
### 【2】今週の見通し

今週は、プライマリーバランス（基礎的財政収支）などの経済指標が発表されますが、経済指標よりも政治的なイベントに注目が集まるとみえています。一部の与野党の議員が大統領の弾劾を議会に請求しているほか、テメル大統領の汚職隠ぺい疑惑に関する調査も進展していることから、政局に変化が生じやすく、今後の動向を見守る必要があると考えています。

労働法改革法案については、上院法務委員会に移り、28日に採決が実施される見込みです。委員会審議を全て終えた後、上院の本会議での審議が開始される予定となっています。

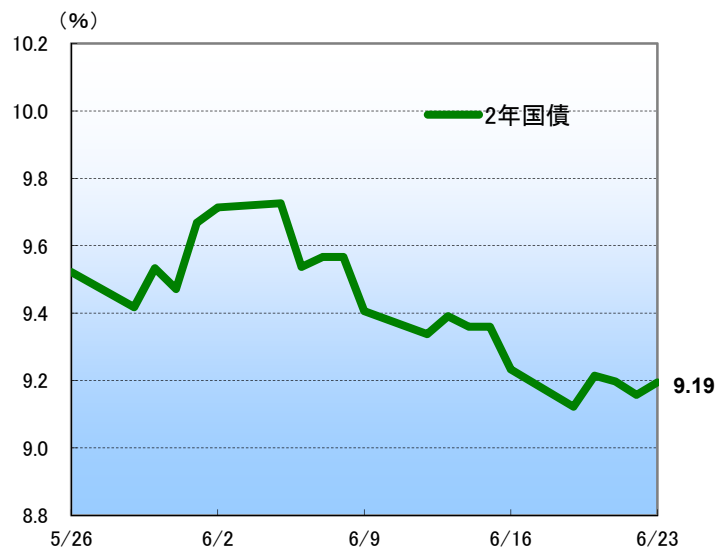
注目されている年金改革を含む社会保障改革法案は、憲法の改正を必要とするため、労働法改革法案よりも成立のハードルが高く、成立の可否は不透明です。しかし、政府が財政健全化をはじめとした構造改革を着々と進める場合には、ブラジル経済に対する信認改善が、景気回復につながり、レアルを下支えすることが期待されます。

【ブラジル・レアル 為替推移】(2017年5月26日～2017年6月23日)



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

【ブラジル 金利推移】(2017年5月26日～2017年6月23日)



(出所:ブルームバーグより大和投資信託作成)

### 当資料のお取り扱いにおけるご注意

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。
- 当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。
- 当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。
- 当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>

## 大和投資信託

Daiwa Asset Management